

山中湖自転車・歩行者道景観検討委員会（第２回） 議事内容

日時：平成24年8月2日（木） 10:00～11:30

場所：KKR甲府ニュー芙蓉 楓（かえで）

■委員会出席者

山梨大学大学院 教授	北村 眞一（委員長）
山梨県立大学国際政策学部 准教授	箕浦 一哉
山中湖観光協会長	天野 凱弘
山中湖村企画課長	高村 富義
山梨県道路整備課道路企画監	池谷 和樹
国土交通省甲府河川国道事務所長	吉岡 大藏
国土交通省甲府河川国道事務所調査第二課長	水川 靖男

■議事内容

自転車・歩行者道整備イメージに対する
デザインの決定



第2回委員会の状況

■意見集約

1. 整備イメージ、イコモス対応資料（イメージパース、フォトモンタージュ）
 - ・異論無し。了承。
2. 設計時の配慮等
 - ①設計段階においても引き続き、景観への配慮を。
 - ②休憩施設についても設計時に検討を。
 - ③ワイヤー形式の高欄は透過性に優れてよい。
 - ④床材と高欄の接合方法はボルトが露出しないなどの工夫を。
 - ⑤樹木迂回区間の両側高欄は利用者が狭く感じるかもしれない。高欄の曲げ角度等、細部の検討を。
 - ⑥高欄の笠木部分が鋼製の場合、太陽光で熱くならないか。
 - ⑦自転車・歩行者道整備と併せて、例えば駐車場併設区間では、植栽帯幅を広げ、ベンチを置く、駐車場の緑化等、周辺景観の一体的整備も設計時に配慮を。
 - ⑧足下照明を床材に設置する場合、照明施設が利用者の足等に容易に触れないよう、床材は転落防止柵から湖側にある程度張出した方がよい。
 - ⑨高欄の支柱天端を曲げる場合、デザインに配慮を。